

三田市立幼稚園再編計画（案）説明会概要

【有馬富士共生センター多目的室：出席者数：13人】

日時：10月11日（日）10：00～12：00

発言者	出席者の発言（概要）	市の回答（概要）
A	<p>①園区はいったん開放されましたが、今回のことで園区がまた復活するということですか。</p> <p>②園区外からも来られるという状況の中で、今回の計画案の説明会が園区内の地域でしか行われていません。ニュータウンの子どもたちも来られる可能性があることや、ニュータウンにも公立の認定こども園をつくってほしいという声があるかもしれないので、どれくらいの方が興味を持って来られるのかわかりませんが、ニュータウンで説明会を実施しないのですか。公立ということ三田市全体で考えることが必要ではないのですか。</p> <p>③認定こども園にしない幼稚園3園の理由は、適正な規模が見込めるということですが、子どもたちのことを考えると、なぜ全部認定こども園にしないのですか。適正規模だけを見ると幼稚園として存続するというのはわかりますが、認定こども園化の良さを説明されていた中で、三田、三輪、松が丘幼稚園は認定こども園化をしないのですか。認定こども園化しても適正な規模が維持できると思います。山間部については、それプラス適正な規模が必要であるというのわかりました。</p>	<p>①平成22年度から園区外からも受け入れられるようになっていますが、基本園区は今もあり、小学校区と同じです。定員の範囲内で園区外からも受け入れているということです。公立幼稚園は定員内で余裕がありますので、実質園区がフリーになっている状態ですが園区は今現在もあります。</p> <p>②今回市内7会場で開催しています。再編により統廃合となる今回の再編計画案の中心的な課題は、農村地域の公立幼稚園の課題解消を目指すことで、関係性の深いと思われる農村部の地域で会場設定しました。9月1日号の広報紙やホームページなどで計画案の概要をお示ししています。7つの会場では市民どなたでも参加いただける形でご案内して進めている状況です。7つの地域以外で説明会を実施することは現行では考えておりませんが、必要性が出てくれば開催させていただきたいと思います。</p> <p>③三田、三輪につきましては一定数の子どもがおり、近くに保育施設もあるという状況です。そういう中で、現時点では幼稚園としてそのまま存続させていただきます。松が丘幼稚園につきましては、就学前の子ども的人数も資料にあります。現時点で一定数があり、かつ市街地に隣接しています。園区以外からの入園も考えられる中で、松が丘幼稚園につきましては一旦幼稚園として存続するというで計画案の中で示しています。</p>
B	<p>④認定こども園に変わってからの保育料についての説明はどの段階で考えられていますか。「2号認定の保育の子も来られるようになって、認定こども園になって良かった。でも幼稚園よりも認定こども園の利用料が高くてちょっと困るな」という声があります。ニュータウンには私立の幼稚園があるので補助金がありましたが、私立の認定こども園と公立の認定こども園の利用料の違いでニュータウンからの希望があるのではないかと思います。保育料はどうなりますか。</p> <p>⑤認定こども園の1号認定と2号認定の保護者の方のニーズは違っ</p>	<p>④昨年度、幼児教育・保育の無償化が始まりました。それまでは、私立と公立の保育料の違いがありましたが、幼児教育・保育の無償化によって、保育料は無償となっていますので同じということです。ただし、給食費や諸費などは私立、公立それぞれ異なると思います。</p> <p>⑤幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領が改訂され、</p>

	<p>てくると思います。全国的にも実績があるのですり合わせはうまくいくかと思いますが、幼稚園、保育園のニーズの違いについてどう意識されているのですか。</p> <p>P T Aの役員をしていた関係で保育所に子どもさんを預けていた保護者の方と幼稚園で常々幼稚園の活動に触れていた保護者の方たちが小学校、中学校に入ってきたときに、少し意識の違いがあったりしますが、幼稚園の先生方はどうやって保護者にアプローチ、サポートをしていこうと考えていますか。認定こども園になって、違うニーズを持つ保護者の方へアプローチをどのように考えていますか。</p>	<p>それぞれの施設で質の高い保育をしていくということで3歳児以上のねらいや内容は統一されています。保護者の皆さんが質の高い保育を求められていることは共通していると思いますので、これまでの公立幼稚園の取り組みを生かしながら、今後も職員研修なども重ねて、子どもたちの学びや育ちにつながるような教育・保育を展開していきたいと考えています。</p> <p>長時間保育のお子さんは、園で過ごす時間が長くなります。もしかしたら家庭よりも施設で過ごす時間の方が長いお子さんもいらっしゃるかと思います。その場所が家庭的で安全で安心できる場所となることを保護者の方は求められていると思いますので、そういったご要望にもしっかりと応えて子どもたちにとって居心地のいい場所となるように環境を整えていきたいと思っています。</p>
	<p>⑥幼稚園の先生は保育士の資格も持っているということで朝から晩までとぎれることなく関わっていかれる。勤務時間の関係で引き継ぎが生じると思います。5年、10年先であればわかりますが、2年、3年先の話なので、そういった具体的な説明をしてもらえると預ける側としては安心感が出てくるので、そのあたりを聞かせていただきたいです。</p>	<p>⑥幼稚園は2時に降園、預かり保育があるときには4時30分に最終子どもたちは帰ります。認定こども園となると、おそらく朝は7時から夜7時までということで長時間になります。今の職員体制では回っていかないと考えていますので、子どもたちの安全、安心を守るように、また職員の勤務時間など考えながら、うまくシフトしていけるように体制を整えていきたいと考えています。引き継ぎなどについては、現在計画案の段階ですので、この話を進めていくときには、そういうことも検討しながら具体的なことを詰めていきたいと思っています。</p>
C	<p>⑦この計画はもう完全に決まっているものなのですか。</p> <p>⑧この計画を見ると本当に市街地以外が衰退してしまうというか、切り捨ててもいいところだとしか受け取れません。小規模がダメだというように受け止められてしまいます。適正規模、適正人数とよく言われますが、絶対にそれが重要であるのかということを感じます。幼稚園で15人はかなりの人数が多いと思います。5人でもいいのではないかと思います。やはり子どもの教育というのは人数が多いから良いというものでは絶対ないと思います。</p> <p>この計画を見ると、どんどんニュータウン中心、もちろんニュータウンも大事ですが、ニュータウンにシフトしていった農村部は切り捨てられるのではないのでしょうか。今は幼稚園ですが、そのうち小学校もと受け止められます。幼稚園が無くなるということは小学校も行けないということになります。個人的には市民にとって困る</p>	<p>⑦冒頭にも申しあげましたが、計画案としての市の考え方をお示ししています。案ですので、取り入れるべきことがあれば、取り入れますし、変更の余地もあるということでご理解いただけたらと思います。</p> <p>⑧再編統合によりまして、複数の園を統合して認定こども園をつくっていくという提案をしています。そのことによって地域が切り捨てられるというようなご意見だと思います。園の現状の中で園児数が減っていることが教育・保育環境として決して良い状態ではないという認識のもと、ご提案しています。</p> <p>適正規模につきましては、再編計画案の前段階である「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」を決める際に専門の方や関係者の議論の中で、このような方針が出てきたものでございます。</p> <p>農村地域にお住まいのお子様にも適正な規模で教育・保育環境を提供していくことが望ましいということで、このような形で進めていきたいというのが提案の趣旨です。そのためには複数の園を統合し適正規模を確保し、そして認定こども園化していく。保護者の皆様が就労の状況にかかわらず、就労が変化しても同一の園に通えるように公立の認定こども園を整えていく。そして通園につきまして</p>

	<p>計画だと思うので、計画ありきで進めるのであれば、ちょっと許せない感じがします。</p>	<p>も通園バスを考えています。そういう内容をもとに農村地域にお住いの場合であっても、適正な集団規模の中で教育を受けていただけるような計画案を提案しているところです。ご意見につきましては率直な思いとして受け止めさせていただきます。</p> <p>少人数でもいいのではないかというお話をいただいたと思います。少人数でも子どもたちは育ちます。伸びる力を子どもたちはしっかり持っていますので、友達と関わり合いを持ち、遊びながら育っていくと思います。小規模、少人数を否定しているわけではありません。</p> <p>幼児期は人間の基礎となる部分、木で例えると木の根っこの部分だと言われますが、その時期にいろんな人に出会い、自分とは異なる考えに出会って、そこで言葉を交わしながら思いを伝え合う、また友達に影響を受けてこんなこともやってみたい、あんなこともやってみたいとなると、5人からの刺激と10人からの刺激、15人からの刺激では、刺激の量で考えた場合には少し違うと思います。何人かの人数の中で、少人数で遊んだり、いくつかのグループで遊んだりすることは人間関係もいろいろ変えながらできると思いますが、人数が少なくなったところでは、同じ関係の中でずっと過ごしていくこととなり、子どもたちのこれからの育ちを考えると、ある程度の集団規模が必要ではないかと考えます。</p>
B	<p>⑨志手原幼稚園は8人になりましたけど、ついこの前までは7人で、年中、年長が一緒のクラスになっています。少人数でもいいという話がありましたが、実際、保護者の声を聞くと、「クラス運営は別々である方がうれしい」や、幼稚園の先生方はすごく工夫してくださっていますが、例えば音楽会や生活発表会になると、どうしても小さなお子さんの方に合わせないといけない部分があったりして、「ある程度の人数がある方がうれしい」という声があるのは事実です。</p> <p>それと人数の多い幼稚園の方には信じられないかもしれませんが、1学年全員男子ということが実際にあります。いい環境であるのか断言はできませんけど、ある程度の人数がある方がいろいろな体験ができて良いと思っています。</p> <p>基本的にはある程度の人数が確保できるように統廃合してほしい。ただそれによって不安や不便を感じる地域の方もいらっしゃいますので、そのあたりを配慮していただけたら望ましいのではないかと保護者の声があることをお伝えさせていただきます。</p>	

D	<p>⑩統合する方向性で動いていると思いますが、先にあった意見も多様な保育ニーズの一つではないかと思います。その保育ニーズを一つ潰していくことになりかねないかと危惧しています。</p> <p>前段で7月ぐらいから各幼稚園を回られて、いろんな保護者の意見、志手原には9月ごろにPTA本部に意見交換ということで来ていただきましたが、そこで出た質問や要望への回答が今回の説明に反映されていないと思います。せっかく2時間ぐらいかけてしゃべったのに何も回答がないまま来ているので、議論の積み上げではないですが、同じような質問をいろんな説明会で受けられていると思います。そういう時間をもたないと思いますので、質問されたことや現段階で回答していることをしっかり文書に残してほしいと思います。</p> <p>なぜそれを言うかということ、言われていることがたまに変わったりします。いろいろ議論された間に変わっていると思いますが、現時点でどういう回答があったかということ私たちもしっかりと考えないといけないと思います。それが成熟して進んでいることを認識したいと思いますので、そこらへんもきちんとしてほしいと思います。</p>	<p>⑩志手原の育友会様に9月冒頭に行かせていただいて計画案の説明させていただきました。そこでいただいた課題については検討していますが、9月中旬に市内全体の説明会を開始し、その時点から同じ内容で本日まで説明しています。</p> <p>現時点ではしっかりとお答えできるところまでは至っていない状況ですので、市内全体の統一の説明をさせていただいていることについてご理解いただきたいと思います。</p> <p>いただいた宿題についてはその具体的内容にかかわることですので検討しているところです。お返しさせていただく必要は当然あると考えています。</p>
	<p>⑪この前PTAの役員会に校長先生も来ていただきました。校長先生は園長先生も兼ねていますが、そこで再編の話になり、もう決定しているという発言をされました。言葉のあやかかもしれませんが、最初に説明に来られたときも決定しているかのように話されていて、それは違うでしょという話をさせてもらったと思います。今回の説明会では案ということを強調されていると思いますが、現場の校長先生まで伝わっていないのではないのでしょうか。</p> <p>その辺の認識を合わせてほしいのと、学校をしっかり使ってもらって、いろんな意見を聴取するような機会を、市は学校側の負担になるとやっておられないのかもしれないけれど、一番話し合いたいのは学校です。学校の先生と保護者の関係性というのは重要だと思っていて、いろんな意見をタイムリーに吸い上げられるような形をとられた方がいいのではないかと思います。いろいろ回られて出てきた要望や質問事項を教えてほしいと思います。</p>	<p>⑪園長が決定事項だという形でおっしゃったというお話ですが、あくまで案ということは変わりありませんので、確認させていただき、認識が違った形になっていれば、そこはきちんと訂正させていただきたいと思います。</p> <p>学校を使って意見を聴取する機会を有効活用すればいいという提案をいただきました。実際にそれぞれの学校のなかで意見が出しやすいという状況となりましたら、お世話になりながら意見交換をしていただく機会があればより良いと思っています。そういうことにつきましては、今後検討させていただきたいと思います。</p> <p>本当にいろいろと具体的なお提案、ご指摘をいただきありがとうございます。お答えできる部分はお答えさせていただきたいと思います。</p>

	<p>⑫校長先生が悪いと言っているのではありません。最初の説明がそうであったのでそのように取られているかもしれないと思ったのです。</p>	
	<p>⑬志手原に説明に来られた9月初めから今日まで約1か月が経過しています。令和5年頃にやりますと言われているが、このスピード感が大丈夫なのかという思いがすごくあります。高平では結構、反対意見があり、三田市長に意見を求めたり、オンブズパーソンを使ったりということを知っているから、本当に進むのか。全員が反対しているわけではなく、3歳児保育を早くしてほしいという意見もあるので、そこはいいところとしっかりと進めてほしいという思いはあります。反対に高平の意見を聞くと、的を得た意見もありますので、しっかりと納得していただいて進められたらいいと思います。</p>	<p>⑬再編計画案で具体的な予定時期をお示ししています。この時期につきましては市立幼稚園、特に農村部の課題が現在、現実起きていて、対応について待たなしの状況であるということで、これを最短で進めようとするならば、令和5年度、6年度に認定こども園化をやっていくということで計画案の中でお示ししています。これを進めるためには、計画案自体を固めないといふことの検討に入っていくということ、時間がないというのはおっしゃるとおりだと思います。</p> <p>しかしながら、あくまで案の段階であって、いろいろな意見があります。スピード感も大事ですが、まずは丁寧に説明させていただき進めています。今の段階では、時間をかけてしっかりと説明し、作業の部分についても両輪で進めていきます。ご心配のことと思いますが、まずはしっかりと説明させていただき、パブリックコメントでもいろいろな意見があると思いますので、まずはそこを固めていきたいと思っています。</p>
A	<p>⑭農村部が切り捨てられるというご意見があったと思いますが、今の計画案は人数を増やすために統合していくという形ですが、その規模が少なくなると、またどこかとくっつくというような、園の規模を適正にするために園区を広げているだけとしか見えず、切り捨てられていっていると思うのは当然だと思います。</p> <p>今後、農村部、理想をいえば今の小学校区で、小学校がきちんと成り立って、それに幼稚園も伴ってというのが大事だと思います。地域の人との交流や小学校との連携も大事であると説明でもありましたが、この形で幼稚園児が地域とどれくらい関わることかという話になると、志手原に行くとなれば志手原地域の人とは密に関わることができると思いますが、母子、小野、高平の人は、つながりがすごく薄くなってしまいます。地域の人からしても地域の幼稚園だから何かお手伝いしようという思いは生まれてくるだろうけど、それもなかなか難しくなると思います。</p> <p>現在の人数でいうと仕方がないと思いますが、今後、農村部の子どもを増やす取り組みを三田市として見せてもらえるのか、このまま少子化だから仕方がないと考えられているのかということをお答え</p>	<p>⑭子どもの減少につきましては、全体の少子高齢化、社会情勢の変化の中で起こっていることで、それに対しては行政として何らかの手立てがないのかというお話だと思います。それにつきましては、引き続き全体の中で市として取り組んでいかなければならないことで、農村地域の活性化についても市全体で取り組んでいかなければならない問題だと思っています。</p> <p>そういう状況の中で、幼稚園の再編につきましては 実際が必要であるという危機感のもとで、その方策として再編統合ということをお案しています。人数が少なくなって統合して適正な規模となり、それがまた減るのではないかとのことだと思います。令和6年度までに農村部の公立幼稚園の課題を何とかしていきたいという思いで計画案を提案しています。その後、さらに子どもの数がどうなるのかという、今の0歳児より先はわかりません。ただ社会の中で増えていくことは少ないのではないかとお思います。</p> <p>もう一つは、このままの幼稚園では保育ニーズに対応できない。子どもの数が一定でも保育の受け皿として認定こども園をつくっていく必要があると考えています。市立幼稚園10園のままで認定こども園化していくのは難しい話で、統合の中で適正な規模を確保し、保育ニーズにも対応できるような認定こども園化を提案しています。おっしゃる点につきましては確かに否定できませんので、ご意見</p>

	<p>れる方がここに来てほしいです。</p> <p>幼稚園がどうなっていくかという説明は、今来られている方で十分できると思いますが、今後、農村部をどのように繁栄させて、子どもを増やしていくかという説明がないので前向きな思いになれないと思います。</p> <p>中学校の再編の話が進んだ場合、幼稚園と一緒に学んだ子どもが小学校へ行くとバラバラになり、バラバラになった子どもがまた中学校でくっつくというようになると、子どもの大事な成長期に保護者たちが協力しながら地域と学校がしっかりと子どもたちを育てていけるのかということも少し疑問に思います。</p> <p>子ども・未来部はすごくいい名前ですが、今の子どもたちだけでなく、子どもたちが大人になっても、またここで子育てしたいという未来を創造してほしい。少なくなったからくっつけるでは、なかなか子どもたちは三田に戻ってきて子育てするのはできないのではないかと。とりあえずの応急処置としか見えず、先を見据えた計画には感じない。「それはこうです」と答えられる方がここに来られたらいいと思います。</p>	<p>として伺わせていただきます。</p>
E	<p>⑮今日来て驚いたのは参加者が少ないことです。関心がないのではなく、農村部にとって今日が何の日かご存じですか。コロナの影響があって高平地区は中止になりましたが、コロナがなかったら今日は祭りの日です。農村部にとって年間で非常に大事な日のこの時間帯に説明会をしたのか。本論と関係ないですが教えてください。</p> <p>⑯わかりました。お伝えしたかったのは、もし祭りがあつたら昨日、高平の人は多分来ていないし、説明する気があるのかと言われても仕方なかったのではないですか。</p> <p>⑰他の地区での話に興味あると先ほどおっしゃいましたが、高平でどのような話があったかは差し控えますけども、認定こども園になって、令和4年度はある程度、地元の方を優先するというのは1号認定のことだと思いますが、2号認定は各学級5人という話ですが、保育園と同じ扱いなので当然ニュータウンからも応募できるという理解でよろしいか。</p> <p>⑱志手原にできたときに上野台校区のニーズ、農村部の就労機会と</p>	<p>⑮学校行事や幼稚園行事を優先的に外して設定してもらいましたが、8月の公表後にできるだけ早くご説明したいということと、行事を外させていただいた中で、市の内部調整も含め会場等の調整もあって、このような日程になったとしかお答えできません。</p> <p>⑰はい。</p> <p>⑱2号認定の人数につきましては、当初5人以内ということで案として考えてい</p>

<p>言われていたが、5人しか枠がないのであれば農村部の人たちの就労ニーズに答えられないかもしれない。蓋を開けたらニュータウンの人ばかりということであれば、志手原にできるメリットを私たちが全然享受できないと思いますが、その点はどのようにお考えですか。</p>	<p>ます。保育の部分については、園区がございません。全市的な調整の中で希望と保育の必要性に応じて決まっていく仕組みです。仮に志手原に認定こども園ができて、2号認定として応募ができる方は全地域の方となります。2号認定の枠については、今は5人以内ということですが、1号認定の数によっては、また上限を超えていくことも想定されます。応募される方が近くの方が多ければ、そちらのニーズが高まっていくと思いますが、現在認定こども園として進めている計画案当初としては5人です。受け皿としてどこまで応えていくかということについては現時点ではそういう対応となります。</p>
<p>⑱市の仕組みというのはわかりました。ただ高平のニーズとして、今、保育園に預けている方にとって志手原に認定こども園というのは非常にいいことだと思いますが、今話されたことまで言わないと、多分勘違いして志手原にできたらラッキーと思う人がいるのでしょうけれど、その方たちにとって都合の悪いことも言わないと。もしかするとニュータウンから来るかもしれないので入れる確約はない。それは市の方針だから仕方ないというところまでお伝えしてほしい。そのうえで理解、納得を得た方がいいと思います。</p>	
<p>⑳今日は資料がありませんが、元となっているアンケート調査「小規模は望ましいか、望ましくないか」を就学前の人に聞くのは、アンケートの調査対象として適切なのか。小規模が良いか悪いかということは、小規模を体験した人でしかわからないはずです。</p> <p>物事を進めるためにアンケート調査をするのはもちろん大切だと思いますが、母集団として正しいのか。そのアンケート調査をもってと言われても、アンケートの母集団が適切でなければ、エビデンスとしては弱いと思います。適正規模という15人から30人もエビデンスがない、先生方の感覚でしかない。エビデンスがないところの15人から30人と理解していますので、それでは納得いかない部分もあると思います。</p> <p>一方で少ないのも困るという声もある。そうなる先生の感覚ではなく、小規模の人にアンケートをとって、実態はどうかを聞いて、保護者ニーズがこうであったということならまだわかります。エビデンスレベルとしてはまだ高いと思うので、今のままでは根拠が薄いので、理解が得にくいだろうと思います。</p>	<p>㉑基本的にそこにおられる就学前の児童数が、資料にお示ししていますように、20人以上の年代がほとんどであるという状況があります。そして市街地に近いという中で、例えば三輪幼稚園やニュータウンの私立に行かれています。そういう方が松が丘幼稚園に入園される可能性があることを想定しています。</p>

<p>先ほどのアンケートに関係しますが、松が丘は残していく方向で、仮定としては市街地から人が来るかもしれないし、ポテンシャルも高いからだと思いますが、これに関するアンケート調査などをされましたか。つまり松が丘には市街地に近いから、ポテンシャルがあるからきっと来るだろうというイメージトークです。本当に来るのですか。ここに対して根拠がない限り、説得、納得性が低い。</p> <p>松が丘が存続する大きな理由として、適正な規模が見込まれることに対する根拠を示してください。松が丘のことだけお答えください。</p>	
<p>①松が丘に住んでいる人全員にアンケートとって、3歳になったら松が丘幼稚園に来ますか、来ませんか、実際に三田に行っている人にアンケートをとって、来ますか、来ませんか、何ならニュータウンに住んでいる人たちに松が丘幼稚園に来ますかという調査をしたのかということを知っています。可能性があるというだけで、宝くじが当たるかもしれないと言っているのと一緒です。</p>	<p>①そういう調査はしていません。声として松が丘の方で、3歳児があれば松が丘幼稚園にという声があるのは事実です。</p>
<p>②調査してないことはわかりました。物事を進めるのであれば調査はしたほうがいいと思います。そうでないと納得されません。もっと言うと高平より松が丘は人数が少ないというのが事実です。</p> <p>高平が適正規模により近いのになぜ松が丘がスタンドアロンでいくのかは、根拠がないとわからないので、ここは確実に押さえる方がいいと思います。</p>	
<p>③スライド12は三田市全体の園児数の推移、スライド22は各幼稚園の推移。スライド12の「三田市全体の園児数の推移」のグラフを見たときに2つ質問があります。</p> <p>一つはこの原因は何だと思っておられるのか。なぜ3分の1まで減っていると思われているか。幼稚園児の数は減っているが3分の1まで減っていないはず。何が言いたいのかというと私立に行っているわけです。そこは何でそうなっているかという分析と考察、コンシダレーションをどう考えていますか。</p>	<p>③園児が減っている原因として、当然子どもの数が減っているということはあると思いますが、私立の関係ということによろしいですか。</p>
<p>④子どもの減少に対してよりスピード、量が大きいと思いますが、その原因は何だと思っておられるのですか。</p>	<p>④保育ニーズで保育所に移行される方の割合がどんどん増えている、過去に比べてその率が上がっているというのが一つの原因です。</p> <p>そして幼稚園を希望される方の中でも私立に行かれる方がおられます。公立の</p>

		園区の方がニュータウンに所在する私立、今は認定こども園となっていますが、こちらに通われている方もおられます。増減などについては、資料を持ち合わせていませんので、申し訳ございません。
㉕なぜ私立に行っているかということをお聞かせください。		㉕保護者の方がそれを選択されるということです。その内容につきましては、公立と私立でサービスの差があるのが、もしかしたら原因の一つかもしれません。また、私立がそれぞれ特色のある教育・保育をされていますので、そういうことに魅力を感じて行かれていることもあるかと思います。
㉖私立に何があって、市立に何があるかということがわからないと、形だけ私立に真似ていっても来るわけがないと思います。 多分、今日ここに4園の方もおられますけど、私は高平のことしかわかりませんが、保護者はおそらく教育内容に関しては非常に満足していると思います。少なくとも高平の保護者は100%満足しています。それは先生方のおかげです。 教育内容が劣っているのではないかと仮定した場合、何が足りないかということ間違いなく広報です。知らないからです。先ほど平成22年から園区外にも広げていますと言われましたが、ニュータウンの方が園区外から行ってもいいという認知度はどれぐらいありますか。		㉖ニュータウンの方が公立の園区との関係の認知をされているかについて調べたものはないと思います。
㉗人口を増やすというのは、二つ意味があります。一つは農村部に単純に人を増やすこと、もう一つは園児を増やすことです。これは全く別です。農村部に人を増やすことは、子ども・未来部の方だけではかなり難しいことは理解しています。 園児を増やすのは別の話で、園児を増やすことに農地法など関係ないのです。枠組みとしてあるのだから。もっと言うと志手原は交通の便が非常に良いです。ニュータウンから志手原に来られるということをどれだけの方が知っていますか。この広報にどれだけ力を入れてされているのか、実績があれば教えてください。		㉗入園募集について9月1日号の三田市広報紙に載せていて、その中に園区外からのことは載せています。そして入園募集要項にも記載しています。
㉘説明書には書いているけれど、読み取るかどうかは自由だということには理解します。園児を増やそうと思ったら文書を配りましたというだけでなく、他のやり方があると思います。 実は高平幼稚園からオファーをしたはずですが、高平幼稚園の魅力をアピールしたいから、市と協力してやりませんかというオファー		㉘具体的にアプローチしていただいたことはどのような内容でしょうか。

<p>をしましたが断られました。高平は高平で人数を増やしたいという思いがあって、高平幼稚園がとても好きなので、もっと広報したら人が来てくれるのではないかと思って独自で努力しているのです。でも独自だけでは無理だから市と一緒にしませんかと、私たちはプロポーズしたわけです。答えはノーでした。それに対して市はどう思いますか。</p>	
<p>㊸幼稚園PTAのホームページを立ち上げました。これも議論してほしいということで、市のホームページなどにリンクできませんかということを行いました。答えはノーです。市のことだから、それに関してはノーかもしれない。</p> <p>私たちとしては人数が少ないという課題を持っていて、解決したいと思っています。市に対しても協力要請して歩み寄っています。それに対してノーだ。ノーならノーで仕方がないが、「高平さん、こういう方法ならいいですよ」となぜ言わないのか。これが歩み寄りではないのですか。行政と民間が一緒になって考えることは、こういうことだと思います。先ほど、広報はどうしているのですかと言いました。やる気があるのですか。私たちは提案しています。代替案はないのですか。それに対してどう思いますか。</p> <p>例えば3月4月に就学前の3歳児などが来るときに、「高平幼稚園はこんな幼稚園です」、「志手原幼稚園はこんな幼稚園です」など、幼稚園でプレゼンをしてもいいではないですか。プレゼンの機会を設けるだけで全然違うと思います。そういうオファーがあったら、私たちは喜んでやります。少なくとも高平はやります。そういうアイデアを出したい。</p> <p>統合したらもう戻れない、それまでにできることをしようというのが切なる思いで、人口を増やすのは難しいかもしれないが、園児を増やすというポイントの話は絶対できると思いますので、統合という最終手段を使う前にそれは絶対にやってほしいと思います。私たちも協力は惜しみません。絶対にやりたいです。</p>	<p>㊸公立幼稚園の魅力の発信については、高平幼稚園以外も含めて10園ございますので、市民への周知や魅力の発信の仕方については、今日のご指摘を受けて、また検討させていただきたいと思っておりますので、それ以上の答えはこの場では差し控えさせていただきます。</p>
<p>㊹公立ならではの魅力を訴求しないことには、私立に行ったら英語教育があるということに興味を持つ人を追っても価値観が違うので仕方がないです。三田市ならではの魅力、公立幼稚園ならではの魅</p>	<p>㊹公立幼稚園の魅力ですが、子ども一人一人を大切にすることです。子どもの気持ちに寄り添う、そういう丁寧な保育をしていくということが公立幼稚園の魅力だと思っています。そして、子どもたちの主体性、これから生きていく</p>

<p>力、会社でいうとコア・コンピテンシーですが、そのコアに基づいて訴求していかないとバラバラになってしまう。私立幼稚園に行きたい人はニーズが違うので行かせたらいいと思います。</p> <p>公立幼稚園ならではの魅力についてどう考えられているのですか。話を聞いていると、公立幼稚園は魅力がないというように聞こえてしまいます。それは企画をされている市の皆さんがそうであったら、絶対に人はついてこないです。公立幼稚園はこんな素晴らしいという魅力を語ってほしいです。公立幼稚園ならではの魅力を説明してください。</p>	<p>子どもたちが自分の力でしっかりと進んでいけるような力を育てていくことが大切だと考えています。</p> <p>また、三田市はとても自然の豊かなところですが、やはり自然が豊かでもそれに触れる体験がないといけないと思いますので、そういった自然に目が向けられる、実際に触れる、その中で心を動かすという体験を大切にしているところは公立幼稚園の魅力だと思っています。</p>
<p>㊦みんなで意見を100個でも200個でも出したらいいと思います。今の話は私立幼稚園の魅力といわれても多分通用します。子ども一人一人にケアするのは私立でも一緒です。公立ならではの魅力はまだ出てくると思います。</p> <p>私が考える公立ならではの魅力は二つです。一つは幼小の仲が良いこと。高平幼稚園と小学校と一緒に運動会をしたり、小学校の修学旅行のときに幼稚園の子がてるてる坊主を作ったり、こんな交流は公立でしかなく、私立では絶対に無理です。</p> <p>二つ目は地域との繋がり。例えば、私立幼稚園があったとしても地域の人がそこまで興味があるのかと思います。高平地区の子どもたちが高平幼稚園だから意味があるわけです。これは公立でしかできないと思います。そういう公立の強みをもっと生かして、突き進んで話をしていくと心が動く。そういう強みを生かすため、公立を無くさないためにこういう案であるという話をさせていただくほうが良いと思います。この前、縁があって私立の子たちと一緒にでしたが、先生の質というと語弊があるかもしれませんが、落ち着き度、本当に高平幼稚園の先生はすばらしい、それは今だけではなく過去におられた先生方も。他の私立幼稚園の先生方は若いという感じがします。公立幼稚園の先生方は本当に落ち着いていて、違う感じがする。そういう先生方が素晴らしいということも公立の強みだと思います。</p> <p>少し生意気なことを言いましたが、公立の強みや良いところをもっと深掘りして、それをもとに訴求したら絶対にいい案ができると思います。</p>	

C	<p>⑫幼稚園の園児数を増やすという話はもちろん大切ですし、そうするためには三田市の人口が増えないといけないと思います。子育て世代が増えるということが必要だと思います。計画案を見ると、市民一人一人が大切にされているのかという疑問を持つような案だと思います。三田市内のどこに住んでいても市民みんなが大切だという気持ちがここには感じられません。</p> <p>ここの中で言うことではないかもしれませんが、市の計画としては、幼稚園のことだけではなく、全体として三田市はすごいと感じられるような、切り捨ててみたいに映らないように一人一人を大切にするというアピールをしてほしいです。</p> <p>幼稚園の計画だけではなく、三田市の本当の中身を考えたうえで案を考えてもらえたらと思います。三田市に住みたい、他市からも来たい、ここに住み続けたいと思うような内容にしてもらいたいです。今のままでは、どんどん人数が減ったので統廃合、もっと減ってきた統廃合と三田市が縮こまってしまい、みんなが外に出て行ってしまうのではないかと受け止めました。質問ではなく、私の意見です。</p>	<p>⑬地域それぞれの思いや事情が違ったりしますが、総じて共通しているのは少子高齢化が進む中、特に農村部の少子高齢化の進みが早いということで、今おっしゃった思いや危機感というのは、本当にひしひしと感じております。この人口減少社会というのはなかなか止められない現実もあります。当然そこは何とかしていかないということでの取り組み、子ども・未来部だけでなく、交通の問題、農村地域の魅力づくり、活性化の問題、先ほど言われた周知やアピールの仕方など、外から人を呼び戻そうという話もありましたが、過度にすると人口の奪い合いという状況も生まれてきたということもあります。</p> <p>そういうことではなくて、魅力づくりなどをして定着する施策というのは、我々もそうですし、教育もそうですし、全市的にいろんな部分でやらなければいけないと思います。</p> <p>一方で、一定人口が減少しても暮らしやすい、どの地域においても安心して暮らしていけるということも考えていかなければならない。あまり現実的ではないことばかりを追いかけてしまったために、結果的に何も対応できなくなるということは避けなければなりませんので、その両面を見ながら施策を進める必要があると思っています。一人一人がどこにいても保育・教育が受けられる状況というのは大切です。</p> <p>今回はあくまでも案です。我々の中では、農村部においても時間をかけずに教育・保育の施設を享受できるようにと考えており、通園手段についても本当に大切なことで提案していますが、どんな形が市民から理解を得られるかということを検討したいと思います。</p>
F	<p>⑭昨日終わってから参加者の人たちと話をし、皆さんみたいに普段から討議をしている人ばかりではなく、普段は一生懸命、子育てや家事に取り組んでいる人、私も含めてですけども、そういうことを毎日やっている方が、ものすごい勇気を振り絞って、自分の人生を懸けるぐらいの思いをあの手では皆さん一生懸命発言されました。その気持ちは忘れないでいただきたいということが一番伝えられたことです。</p> <p>「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」の案が示された後、いろんなやり取りの中で、特にパブリックコメントの機会がありました。そこで今回話題となっている適正規模についてなど、いろんな指摘があったにもかかわらず、その案が取れて基本方針が作られるまでの間に一文字たりとも変更されることはなかった。その過去</p>	<p>⑮通園バスについて、おおむね40分以内でということで、一度、市でシミュレーションした中での時間です。実際は乗られる人数と駐車場所によって違うわけですから、ゆっくり見て最長40分。早ければ30分以内で済むコースもありますし、母子からもありますし、高平ですと小柿からと広範囲となります。最長40分ですが、当然低年齢児ですので、そういった負担を考えていかないといけないと思っており、バスの時間が短くなるのが良いのは当然だと思います。まだ実際運行しておらず、どこからどれぐらいの人数の1号認定の子どもが乗ってくるかによってルートも若干変わる可能性がありますので、その辺も考えながら子どもの負担が少ないようにさせていただきたいと思っています。</p>

<p>を見ていると、私たちが一生懸命言った意見はどこにあって、どのように処理されたのか。</p> <p>今も何回かの説明会、昨日のことも含めて、みんなが考えて一生懸命言った意見はこれから一体どのようになってしまうのだろうという気持ちをみんなが持っています。つまり、信頼関係がちょっと壊れかけているのです。</p> <p>そんな中で、まず会話ということはやりにくいので、何とかして各地の説明会の声をしっかり形にして、「こういうふうには反映させます」、「こういうふうには方針を変えました」、「ここはこういう理由で変えられません」というのを丁寧に説明していただきたい。その対策の一つとして、説明会がこれで終わりではなく、また開催していくつもりだというお話をいただけたので、そこには希望を持っているところです。</p> <p>質問ですが、私どもの要望書に対する市長からの回答によると、通園バスは園区内に限り走らせるということだと思いますが、それを最大 40 分程度の通園時間を見込んでいるという回答でした。3 歳児を毎朝、毎昼 40 分乗せて通園させるというのは、親としては現実的にはとても採用できない案です。いろんな地区がありますが、これはおそらく母子のことを想定していると思います。母子はしばらく子どもが 0 人だろうという見込みで、40 分でもいいかなという感じになっていると思うのですが、これは逆に母子にもう子どもは来てくれるな、幼稚園もないのだから、母子に来て教育・保育の機会はありませんよということを市が宣言していることに等しいのではないかと思います。というのは現実的にどこにも頼れない。母子の近辺に幼児教育施設が何もないのだから、そんなところで子育てしようという人が一人でもいると思いますか。絶対にありません。</p> <p>公立幼稚園というのは、あらゆる子どもが等しく教育を受ける権利を守ってもらえるために作るものでしょう。第一義的には。その第一原則が 40 分のバス通園を前提に計画されている認定こども園では守れない。この点について、どういう発想で 40 分の通園でも構わないとお考えなのかお知らせください。</p>	
<p>③④バスをどこの地域でどれくらい利用するのかということも含めて、結局どこの地域にどんな保育ニーズがあるかということを地域</p>	

	<p>ごとに詳しく調べてみないことには、適正配置というのがどういふふうにあるのかというのは検討のしようがないと思います。</p> <p>バスの件にしてもそうですし、高平地区の保育ニーズが全市的なものとかかなり違うということが昨日わかったと思いますが、高平では潜在的に戻ってきたい、高平で子育てしたいと思っているけど、いろんな法律のからみでできない人がいるということも考えると、地域に応じているんな事情がある。それを調べずに出したから、やはりまずかったとしか思えません。バスの件も細かく地域の状況を調べていただきたいと思います。</p> <p>今回のような意見が次の説明に取り入れられて説明会が開催されるならば、いろんな意見の中で子ども・未来部だけでは答えられない問題がいっぱいあるので、子ども・未来部だけではなくて、市長とか、市全体の計画として考えられるメンバーを揃えもう1回説明に来ていただければと思います。</p>	
G	<p>㊥先ほどおっしゃっていましたが、広報の重要性というところにもっと力を入れていただきたいというのがあります。今年2学期から園区外から1人、来年も1人来られますけど、その人たちは知っていたから来ていただけたと思います。今年来られた方は、「今日見学に行かせてください」ということで来られて、「いいところだから明日から」ということになった。見に来たら本当にいいところなので、入っていただける方はたくさんいると思います。</p> <p>先ずはそこに力を入れていただいて、そこから統合再編と思います。減ったからすぐに統合するのではなく、まず増やす努力をしていただきたいという要望です。</p>	
F	<p>㊦志手原で認定こども園にすると、もちろん園児数が増えるわけですが、駐車場がどう考えても狭すぎる。安全に送迎ができるスペースを今の園の面積の中で実現できる目は立っていますか。</p> <p>㊧道路との接続の関係もあるので、内部ではなく、道路関係の部局とも連携をとって総合的に考えていただけないといけないと思っているのでよろしくお願いします。</p>	<p>㊦志手原幼稚園のあるところは、整備を図っていくことも考えています。具体的内容については検討中です。園児数が増えると来られる方も増えるということですので、その辺の具体的なことについては、検討してまいりたいと考えています。</p>
D	<p>㊨今の話を聞いていると、このまま統合を進めるのは厳しいのでは</p>	<p>㊨昨日の高平でも議論を尽くしてほしいというご意見がたくさん出ましたので、</p>

	<p>ないですか。今後どのように進められるつもりなのかを知りたいのと、説明会はもう1回開催されるということをお断言していただきたいです。</p>	<p>説明会をさせていただくというお話もしています。志手原でも今日、お声をお聞きしましたので、改めて説明会をさせていただきたいと思います。</p> <p>今後、どうしていくかということですが、あくまでも案の段階ですので、さまざまなご意見があり、一方で進めてほしいというご意見も聞いていますので、そのあたりを踏まえて、市民の理解、合意形成を取っていくということが大事だと思います。</p> <p>その両者のご意見を踏まえて、どういう形で合意形成を取っていくかを庁内で議論したいと思います。そういうことも踏まえて改めて会を開催させていただく中で、意見交換ができたらと思いますのでご協力をお願いします。</p>
E	<p>㊥ 4園の場所の説明のときに交通の便でしか説明がなかったのは残念です。おっしゃったように、子どもたちの安心・安全、教育が一位にあるべきだと思います。そういう点を考えてこの案というふうにしなないと、交通の便が良いだけ、それは二の次で同じ土俵で考えるべきことではないと思います。</p> <p>現実的には交通の便が悪かったらいけないと思いますが、まず子どもの安心・安全が第一であるべきです。教育の内容が第二で、そのうえで利便性。この順番を間違えると、利便性が一番だから教育の中身に全然触れられていない中の話だと議論は平行線です。</p> <p>ここが大事でこういう案ですとするか、昨日も高平から複数案が出ましたが、三つ四つの案を出して評価する。この案はこういう面が良くて、こういう面が心配です。でも市として大事なのはここだからという説明をしていただく。利便性一点張りだと多分、納得が得られないと思います。複数案をご用意いただけると思うので、それを評価するときに、大事なところはここで、だからこうだと言われた方がおそらく議論が進むと思います。三田の未来のために、理解するのではなくて、意見交換や議論がしたい。素案を出していただいて、その評価するときはこういうポイントというように、利便性もあるが、一番は安心・安全、子どもの教育が優先順位は高いと私は思いますので、その辺もよろしくをお願いします。</p>	